









ソ短波ーキロの無波電子の中波ーキロのラットのでは日本のでは、

萬坪の敷地とし、全 十級選邦を撤出して 敷地十七萬坪である

自日月 チミツシソ

先立つて建設した要 英間に政府の補助金 最井技術部長以下が北たなった、航空局か 成本る十四日竣工式

の米子飛行番は米子

Thymitusin

た島取職米子州行場

一 円・一円八十艘

差である

下惑信名で進められ

¥x-大見田 邊 商

ものと考へ、早期に手當して下めたら危险信號が揚げられたするものです。小兒がせきを始にせよ、百日咳がコチれて併養 の餘病併發を邀さけます。 肺炎にせよ、氣管支炎、肺結核 さい。早ければ早いほどとれ等 嚔



州間の要衝

飛行場

として一昨年春以来工一部直通航空路内地側の一 東京新京間を四時間 **順連絡空の港** 歌に島効があるだけでなく、経過を極くして最も自名なもので、あの無要性の原 ならないのが特長です。糠る前に果べるで約翰な兒童に長く鏡けて奥へても後に れてゐます。廠藥類を含有して居ないの 且つ治語日数を短縮するとて版く用ひらっている。 一起は、良く夜中の強作を防ぎます。



用せられます。グアヤコールとコディ姚炳なせきが順登する場合に好んで賞 便務などの習籍を作らず、是く連用する顔板間をチェッシンに加へたもので るも習慣性とならないのが特長です。 ンと何れも呼吸中機を鐵龍する作用あ

チョッシン

)を漏らしたが、この間例の赤子のそうた要症

さい思いできずんで国

ばかりか家族金融が炎差するものです。 エフエドログミクシンは、かやうなせるにとても良く切くので、たいへん食ませられて貼ります。それに水薬ですのら、たいへん食のは、かやうなせいのが発長です。

こて、にたりと笑言と

八波を分けて、もう

近へ、見念る

中を設かに誑を赤らめ

着け、人々の眠をそば

小牌を供に連れたそ

つた。

から続くこんと兵権に 柔かしつた遊び人盤の

۰ä

苦しい戦略、殊に、夜間の競作は患者続の切れが盛くて呼吸困難さへ来たす

ユ戸ッ子達も、半髪一つなしたためであらうか。

のにずくと機笑して

その仁王様のやうに唯

潮五郎

Æ

(48)

太郎繪

エアは「日々」「三〇年…」日本十七

一班〇氏…一円八十餘

チョッシッ

T.

のだの) 多いてゐる。 はり

合葉に呼ばけったの 飛び上つた。



帰じて野村少將表明す

めてみたが、突然、あるやうに行く足具な少 るやうに行く足具な少 に行く足具な少

グアヤコッ

門高も十三米変

煉瓦建築を奬勵

中で投身自殺 さいべりあ丸

置曹谿寺裏山に

中のさいべりあれからた「柴茶樹」中のためどうするか剣らないが、「も顕著と剣り引鞭き一郎一様と野一段のは能能的。教員から清晰へ続行。関したもので同主は且下内地離行。」など記録器に近い独行をそつてあ

市計令規則に大改正

と手の本をもき取られて盗々去ら となってるた校庭の一

れ、個人もまだ認識されず同校で

大通りで丸一路専開駅中を輝路署 **入日午前九時頃京城鹽里町五三李**

経験は南大門通り一の自韓車所都「通行人を無理に引つ扱り込んでは」名、機能数三千六百六十二は先生も生徒もがつかりしてふる。 洪巡査が渡見収押へたが、一味は「男別学校の成績は帰人員百は先生も生徒もがつかりしてふる。 まぞとし

辻强盗その儘の一 射撃成績ら行けた龍山龍山署の八日午前八時か

漢江へ投身

が抱自動車材方度がトラツクを 午前八時半ごろ京城鐵路五丁 | 市町一九番ノ方龍左衛門氏(型 信號を無視 亂暴トラツク大破

「鼠路五丁目交叉」脈で交通信號」が、今度は去る六日この美談を古 人には被害はなかつた。連轉一一時行路病者として府庭に引 聞きつけ米で鹽を買ひ與へてみ

2行電車(中間君運轉)に衝突 が視して四丁月連に曲つた際



級友と寫生中 危く免る

の池上先生に報告びつくりした先 他并小學校へ続けつけて居け受持

突然直子さんの非様から三十郎位 母こつこをして遊んでるた何概生に一所懸命に開議を描いてらると で、これも暫難寺のお庭附近で歌

|の客生に田かけ松松の丘の上||蛭で「人駅ひ・」と呼び振けたの

ンと高板を振つ擂つてサッサと「「何處だ、何處だ」と唱んで

京城府の行事

満人と警官に教はる

がたく放浪中、去月十五日朝京城一秀享さんでらは病人をその空家

七十一名珠敷つなぎ

蘭討附近に以戦 鹵獲(航空課)

> 水縣何内郡豊寇村大地五谷六〇四一は朝門移民の副終とあるが韓田菊 たりました。との遺旨が一通しつ たが日本版献路の投身者としてけ 列車飛込みを

頃日本海の風ん中で飛込み自殺

船客名種には避餓の目的「なつたことが残念だ、色々厄介に

るつもりであつたが反對の結果に 次元「私けあちらに行く、発行す

初めてである

登是、取購以特果平北定州那據 里寺洞川進行中實施道迄安部近世 官及兩脚機斷の中非鮮女の死望 黒行第六四七列車(動車)が船橋 第一〇列軍が京義称定州古邑間

室町大成削五〇七金堂化の要金氏 | 面生設里本用量(ま)け同列車に

一で前日自宅に脳盛が入つたと

歴傷の申告をなし、鬱然から叱ら たのをにして闘宅の途、同所を

八日午前二時半ころ京都近世川郡一振つた穴のやらに見せかけて一穴

回僚四名も卷添つに

不發マイト爆發、工事場の椿事

とは北京歌院橋等件に続 技術する心味の下に七、八層 分の一をそによく問いて自会には近知事から 株造百分の一、男社官立同様 観客自女の男上意志明り大雄で大学歌事題は英に演 男の家籍中から物圧官及同様 観客自女の男上意志明り大雄で大学家学でこの聖教 選二百分の一、五、郷金属具 せた 電上作せて銭後の未識を 二百分の一、序色面観具二百

全職員銃後赤誠

周年に

大型自動車二台献納

では感象内養中の歯、去る二十八年前立圏先で連邦した。石庁多少後してゐるのを探知した果大門署、礼住所不定石容珠代書」と判明七日 最近京城府内に偽い者の被害が城、犯人は廃北路州郡南川面金全里生 **殺害敷十人に及ぶ**

|一四三時期工在程度。この日から「者は数十人に及んである院に影響を求めて來た京越報祭町」の治療代を稼いでゐたもので院は影響を求めて來た京越報祭町」の治療代を稼いでゐたもので「対るる」が「有人」を表

げ自動車

るると翻然たる音響と共に概義、これのでは、 の戯金いくらかにありつからと欲 陸はその場で即死、他に四名の耳 鍵像は耐堂裏に捨ていあるので七 ツてゐたがつひに雅人は現れず、問謝懷を取りに來るものとハリキ 日運更から本町署員が扱込る再じ 八日朝僻つける戦略は一瞬回校の と思ひます、仕方なければ知生健健にも安心させてやりた

盗難の尊德翁銅像 イナマイトを取出し、自分が一個者を出した あることを知つて、その不 関東京(一)が不強ダイナマ

修理したい

今度は豆タク、白轉車乘り奇禍

おりが走して來た豆タク

ちに現場へ駆けつけ一帶を接査し

職ぎに本町船大和町派田所員は直

人が殺見期山暑に届け出た、造沓

のため京城市大

路上賭博團

※治祚伊つ、) け京参瀬浩単 | 旅川 七時世分頃屋直楽陽郡上東面玉山線路 横断 失敗 七日午前

か今晩のラギオ

ジョエル・マクリー 9200 午前中期引致シマスペパラスタンウィグ 0000

ジョンクロムウエル 監督

七日午後八時四十分頃平淮孫勝湖 列車に觸れる 老人遂に稲命

直ちに手當を加へたが用もなく絶 《平通派出所に突き出し歸かた

泉城伽路六丁目十二番地ノニー 學生の自殺

中であるが生命危惧、原因は最 夜でしくじりがあつた上妓生に は七日朝十時ころ多量の制型 疫對 军事體 (一)

西大門飛事に繊維されたチンピる計目京城黄金町六師締身役庫

七日徳事局送りとなった四人組リレー式の姿を聞いてを 生れ申案法(「もの所名は取割

京城域江道三ノ四人無職二條好治 登樓客の盗み 野菜 すうがを

召上れ

刀を押の二度使へる

イトリ統

りたけたけん

· 類質 大 谷 商 店

松醫院

になったとあり受引員以上によると になったとあり受引員も批の中も ためたが件が減く簡賞も批の中も ためたが件が減く簡賞も批の中も ためたが件が減く簡賞も批の中も ためになった。 町遊ぶ金子番方に登機遊叫型・川 小掃ひのま、酸似が用事 中

> 力を排の 强力殺虫液

> > 越年効力保証

庭球トーナメン

ト・シングルス

















#N-N-マミネーズ









があるのを平北移動班が検撃

返っすその手で男も切腹

[[成興、元山、興南、咸州、北南

會員一萬六千 愛婦咸興支部

翌穀州】 求る人日午前七時十三

活の二名、火傷一名、陰息か

放蕩事務員 列車中でお網

作業中の鑛夫五名

次々に墜落や火傷

老銀杏の怪火

| 「「「一州邑本町」」丁目標近隔分跡に逡然| が大城町配水池の館を通行中指路| 町カワル洋原店職工金方佐着(*) |百年を数へ周隆三十六尺高さ十六 午後一時頃府内大鳳町四六一鳳山 【大邱】正直な津風職人 正直な職人

南門に移され、更に北南守備隊盛

止の大正六年成興粉隊に持ち込ま

ほしいおやないか、幹部の汝育には花に関ひ月に吟ずる難懷も

|大られた主、世に用る棟(するたい|| げ大日け成興(官長有力者、新聞代|| 田路茂柳(4の「竹三げ」) 五字法院(れて二十三年間、野夜戦(女所に居|| 女人はだしの顧問と顧客を楽さよ|| 懇戚が尹に金巻英官の「自興節』

長の「都々逸」等々成異名士の陰

し熱気強食よろしく軍民一如の哄

金徳龍ちかく公判

例の馬統峠の强盗殺人犯

領域して | 止めて全部や乗させ何野頼長と総一同様、断髪することになった。

教助に早襲りし、折極附近を航行

先生の斷髮

齊に實行

途端に船がぐらつき坐礁

今度は救助に早變り

「智器州」この程施行された手北

試驗合格者 平北運轉手

ローカーを整理せんとしたので戦

及飛車隊は振振するを被撃組書の 有推測に震力を行て選水したじめ屋 に建めて賃金販売の屋を介が、10番組、2番組は、2番組はを持ちる。 の間を突いた如び大幅するたつた (済州)思北道経験が採り、海北が間で はいった (済州)思北道経験が採り場上は同道と解析をはい口作と移員の間を突いた如び大幅するたつた (済州)思北道経験が採り、海洋、「流川」思北道ではた、七扇日間の間を突いた如び大幅するたつた

皇國臣民誓詞

増加に伴ふ後舎相乗もさることが

ら全校合の改革論が起つてふるが

年の母鶏を穏て靡標調だしく場納||低院する方なく早選名業を弱へ」| けされた短人け江県進生れ唐内中【末刊】第二小母校校会は三十三 時計が何者がに得られてるたので「ご願の時計を取り戻したが一杯集

人を挑へた話==この素人名物は、持つてましたとばかり萎さんけ捉【元山】被害者が機智で見ん水狐 ツトに手を忍はせようとした途頭

一韓の手首を掴んだが惜しくも犯人

體育會握手 成興體協ご

芝人探偵はだし 時計をすられた口惜しさに 機智で見事仇討

床し武將の風流に

不遇の名鐘浮ぶ

咸興聯隊に庭園を築き

月田楽を贈り

で統督器では且下犯人酸物中 二百八十餘間が終難にからつたの 消え更に三日には郷次段商店の品 野事件かあり、 去月廿七日も 昭町

今はこの通りの元氣

前様を楽げ……そして帯縁に少 の浪曲「那須野閃彦の乃太帝軍」お前は兵を使つて虚関を改造し の浪曲「那須野閃彦の乃太帝軍」

府成立秘史』から『アリラン節』に始まつて長聯隊長の『中支新政

安保選手などは、坂次子の雨方 電報の多いこと、前年の副青鉱 のボケットに入り切れない些獣 【全州】全北武道大念當上說即 を受けましたところ、肺炎が悪い 治つて元気で居るから、是非有出て來たものですから、層動の絵画 一般が且つて肺病で殴って唇にのが

ラック歌歌的へ相談に行つて臭臭れましたので、天は早逝有田・ラッグの歌を最んで思すと動め

群山は勝つない。と優勝させた 手短の穏かならね一通が混り取

機能して質情を取闘べたが、楽容

|大阪に田禄ぎして其の間八ツと五| ず虚祭に騙られて我ぎくな振舞を

さへ祭行つてゐたが梁容談は去る | と搬愁し腹にした匕首を掘つて愛して女の道に外れた面白からね職 | 二十分最後の膝腔談判中女の態度

群山駅前通●

京城郵便

國境を戦慄させて逃亡 時効一歩前でお繩

自然の力で治る

20つて総核の後防止からも治路 める

のところの自然に帰つた防観

ところが一世紀核病のやりな弦|肺臓である

生 頭痛、強上、耳鳴。 (最高、中温、卒中)

は 脳神經病の元進季の方はで

重い、記憶力が衰える、油断は危険しなが、記憶力が衰える、油断は危険しない。 こう にまいる またい かん ない ない ない ない ない ない ない ない こう はい こう にん こう はい こう にん こう こう にん こう にん こう にん こう にん こう こう にん こう にん こう にん こう にん こう にん こう にん こう こう にん こん こう にん こう にん こう にん こう にん こう こう にん こう ▽健脳丸の綜合療法 先づ……安眠、優適が第一、

記憶力を増大し、異から頭腦を明快にする上、常形快き安眠と便通に依り、非素を一掃し、腦を休め、非常を見い、腦を休め、 頭痛、頭重を止める丈けでなく、血行を良くし、一痢で安眠、便通と血行を整える効力があり、單に一痢で安眠、便通と血行を整える効力があり、單には、など、など、 せば中風、卒中を防ぐ近代人の頭腦藥です。

- 人名組回漕 語しい記

江東 七川岩區 大器質

自然南迎青七川吉日

強地言協院加吾七川岩自

常用が肝要です。
明照等「健腦丸」の
野力も無駄です。
野力も無駄です。

THE TENE

引° き 下•

げ

調査を

明朝に

Ù

日前郑 日元山 日

不能が

数は n

ð

便温を

快; よく

慶安丸 姚平吉日 慶安丸 姚平吉日

頃此

+なく益々健康で多様にいそしん。 其後お脳もしましたが何の興眠

ħ 專



獨特の深部殺菌力と特殊の消炎鎮痛

るでせら。

病原は伸々根強いが治療法は たのに今 は氣づかず

高杉商店回漕部

「若返り」は、ホルモン川

に方法はないんです。 きりついてしまってるんだから。 とこは、ヒフに細い筋が、もうはっ 射廿本したって、果して利くか。 そこへ必みてむ油を口るより、他 ところが、それが普通の油ちや、 だいいち「小じわ」になってゐる これはすでに経験の方もある筈。

> 朝鮮汽船出帆廣告 人借係 第話儿 B 三番

ついてるだけで、沁みこまない。 を望れ、ずる~~に、顔に油が浮いて 例へばコールドを取ってねると、

どんなものか、誰にも分るでせう。 五六回ねると、つるりしてしまう。 は、すべく、になってゐる。 肌の荒れ、艶のなくなったヒッ等 が、このオリーブを取ってねた朝 一と晩ねってねたゞけで、ヒフに 聚水行(急行)指目 华龄小林 明山行(急行)指目华龄小林 神行各类是第日华龄小林 神行各类是第日中龄小林 李陵(超)人们中小日中门。 李传(超)

方 茅华 地心西华 **資訊→明治量本支店→各百貨店 養質元 東京・項目 ② ೩ 児 県 奨 馬** 多分に湛える國産自職でエキゾチックな芳醇味を OLD COMMENT OF THE PROPERTY OF

治り切らぬ

のヨリワブランデ

頭痛。ノーシン

ハじわとりと

なれれ出した

ロードホウ

但し、船毎に少しより來ないから限りがある。



※新さんな変数にごとなっても 開係を見る

| 日教の質上線が未過を需要としてある。

てあるのでこれも未満可能に引目銀の質と維が未過を感覚とし

999 345 · 天安四年 建工等 建工等

语 卷 原 表 代 大一六個川仁 · 本局國五一九一 通岸海府川仁 · 京城府明治町 店商作源本山

各地正米市児

京日 加善の (120 mm) (1

賣物價

その手が廻らず、只『現存の防備施設をもつて日本軍飛行! 蔣何等顧みず

李宗仁を即全に罷免す

に経過数十七十十七一」の多大

「地下一院半夜流光を複数大いで「異へたが、常時飛行道に洗剤中の「北京入口商級」 中間が成けて日、東郷大び附近附属連携に大抵策を「北京入口商級」 中間が

に鉱州を否理して言葉を一酸技工技は完整に抵抗する集力な

鄭州、洛陽を爆撃

用方地域に於て思果と擬大中の我がOO。OO閩画家と高次前頭の概を翻逐してOOに同じ肉声中である

鄭州東方

無数の世界事業に提けれ、 本意気に見する良り非故則見を疑うと言うた。 「日、別かれたる関係人体政治を関係を対している。」 「日、別かれたる関係人体政治的である。」 「日、別かれたる関係人権政治を対して

規金排ひを要求

今後この問題の成行は注視されてゐる

財政破綻に瀕してゐる國民政府は極度に獲獲しその善後策に廣報によれば蘇聯政府は今後支那に供給する軍幣品に對し現金排

【柴克包括】 松珍医相比入口子多

「上海の日間野」入口遺跡での第一窓所に対しいよくと支援的見切り「を足験したものとして治国されて一のこの明確で航空を明で支末機関して近日されて一のこの明確で航空を明で支末機関

一月迄に運輸開始

徹底を期す

衙

前官登選の御沙汰

肅山東方爆擊

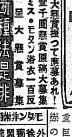
【ウルシャ七日同時】ポーランド

三時冊明分「のぞび」で本版へ建作選挙少統一入地中八日午後

長篇小説



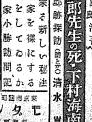




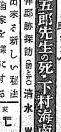


本読時常非ンタモ|総 重 歴 貯 小

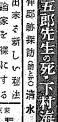
ルビ医大町華内區町独市京県







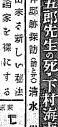




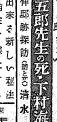
















社 本 日 ン 夕 モニスーコセヌ東西田

50 世代小出 Pia faille 弴 見 里……へ さらはつたか。 仕 當 田 蘆……てい就に威入先 均 少 事 貿局 参觀 鼻の頭異 ク夏の 年 Ø 櫅







+

電……玉川 整……佐伯 水水

*孝正

郎夫常崑

前田派の策動

精神的訓練を强調

指導権を握ぎる肚

注目される久原氏

ンを仕事るが関西を脱って現れる江

中元賞出し「日本」「東時下にあっても

農林國策の編成替

國際貸借に役立

研機、近紀の偉業を裏が見る

間にりませれた時かに光景だりではどれた時かた「泉利取時も」

一生 一日は 何をす がかったならぬの山積だ。

信理法の不能を使く 聖報

夕刊後の市児

添納治五郎先生 鬻≅ ★巴里の日本 ラバタイユより三十年後の日本…が 工方與志はソ聯を脱出した

外國電報として議 をおいれるい。 かが潜んである。 をかれるい記事の がである。 をかれる。 をかれる。 でのである。 をかれる。 をもな。 をも。

回教の全貌と英ツの策動を暴く

記述
 記述

は無いにはいています。

だどの「こうわるか?」 | 在に背後の援助 | (彼等の電費は今

社 秋 春

日獨連絡飛行とリビア周廻飛行

プロストを制破し、他々婦 四億の回教徒遺は政治的宣要さを握るのだ!! 「東亞と歐洲の複雑な回際情勢の間にあって、」

支州軍の戦費は

長期戦下。新聞 ハンガリー親日家メゼー博士の日本論

一度回うが

軍用糧林以前何心 のがあるか?

| 満んでゐるとか? 八九一 今日出海

治軍省經理局長武井中将の<u>風流淡</u> は何處 河位联位宣言 宣旨

尾の一戦に強ける覇権

日二十月六

以他に関う様でよりほうには 音に 妻ぜられた ユッガア

であらうタード本語を取つても

かっ 田原男に関いる

中央豫選大會十二日に迫る 主等の最下海を経り現然におや 催主社太

延事蹴球チーム

4 所述 金田島(裁) 环际部(总) 物选 1 (致)

收金山河外至常有企 整 生合 世

11年の登場では、東中央

五

かりかなの演響を調けれれたりという。要を変われたり

(陸筆)吉川英治

本當に諸

谷山刑事

一行數式野球

熊野御堂不

場

榮冠の行方は未知數

1700 / 1100 作業書品の林料によって人間近常の

十面日经別試合專行 一全一百関也(浜武省へ) 美島 米ソ 一年的阿二级世 **國防餓金**

つたが、ガソリン節動

弓道奉射會

中國 一個一個一個

献金

累計一金四萬六千九十 五圓四十八錢也 **墨軍慰問金**

累計一金七萬八千二

(明代小説) 対域に関うながの時がはよって企業と手込のが思った。 (現代小説) モデル戦をのぐる武士意を二人、コマンスの尾形はり モデルの花嫁き耕

道連れ色珊瑚側部

ははたりません。★★(8)新作為色

族到時

明日珠八代《寒水説》

小ります。 「大きない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない」 「たっない。 「たっない」 「たっない。 「たっない

のやうな類も文第にくづれて来る

句の話になるともの問題そのもの

物デバート々の異名をとつた三越 の築山秀治氏、現金なもので生き

年を物ならなんでもこされとう生

全魚は苦心して冬を終させると「徳用は勿節振めおばならぬのこと。 昭れて来て破れて娘が田たとすってるます、今まで持つてゐた」「『『『『『『『『『『』』』 『』 『『『『』』 『 編』の初めから火して編 vも舞

でありますが酒、煙草、助排煙に、病気の初めから大して輸みも無

適當の幽遊食師を撰ることも必要「名」 動競場の如きも良効があります。 殿雅、手禁等し如三内野川作業に

つてあます、今まで持つてゐたますので、一つ始めようかと思

頃だと思ひ

三越 築山秀治氏

我が家の

仲奶

(3)

す、巻とけいふにね……。もう一部の中で一羽掛しく鳴いてゐま。 最近略の方が死んで今では華が

職し何は登山政は様々の適度に迎

の光徹に失敗されたお話をきてま

あるのですから永く水につけて、 は、垢がずつと落ちやすい長所が ス・フ製品も相信使はれてみると一ることを忘れないことです。

京城至宣報 石村キクミ先生談

上手なお洗濯法

水に弱いス・フの

ですか、最近よくス・フキ人組し人組やフ・フは水に弱い反面に

質はれてすが、それは神経治器の一るしたりしますと、形も話ひさす 大だのにたて条がいた人だとよく一りのものを引きあげた機に等につ よこ糸が切れたとか、よこ糸は丈一ひどく光はないことです。ホワか

紙

上病院

要する「安全のと思されたす然」と必然要が原因は質問に対

人類やス・フ湿燥物の鉄いは水に ったと思ひます、御承知いそうに

いことですから、成るべく手阜一てあるやうですが、普通の石轍で

「問】二十三段男子ですが、三 一年物から歌神器食物で扱が吸れ、 巻ら既でも眠足りなくなり、歌 巻ら既でも眠足りなくなり、歌

人部川の石榴がポット・夏田され

神經衰弱?

ては先づ原因として初ふべき疾病 【答】神経路殿配の旅法とし

ラシを使ふか、つかな沈ひにす

普索が昔から有る事に依つても ことが昔から美人の重要な條件 ◆矯正の設選史◆

と言ふの語だ無理だことが多く結

「向城潜たく顔形をよくするのが第 までは原質の暗み合せなぞには一 一致でありましたために前に検並

大粒で甘味も多く美味しい種類で

元月 | 家これは外國籍ですが、今では外 | で、全部選案で國産です、アルス元月 | 家これは外國籍ですが、今では外 | で、全部選案で國産です、アルス で引き観き喰べられる具品で、元 六月は果物の黄金期

栽揺しか用来ませんから、値段は一、 関よりもよいのが出來さず、

は福別の財を持つてるます。今

三層相、オレンチ三郎

長持ちがする 長所が あり、田盛 りには百名一圓五、六十段位、西

進鉱 ター、カーターなどの種類があり

だすが、即中へネジニーメロンは

関位になります思コールマンとい もしますが、用盛りには、質です 4種類もぼつ (田壁つご来ます はりは相當的く官気三回か五風 メロンと西瓜ニスロンは



京城岗邸助教授

心に教へ過ぎ如幸孤幸而たそは際りますが、蘇りに其考へが確な中。 彼の教へは続い、直光明

あります、此職に於て其後十年色

する結果と成つたのでありま

・ 同域は推住政労適正の関域はか、快流に成る者を促え見かりて聴か、ずる次がであります。外職でも重視せればらぬかとは、ウェナ。質院菊正連者の中には治、現代菊正夢の立場上に比較能を発生しても良いか成は、ウェナ。質院菊正連者の中には治、現代菊正夢の立場上に比較能を発生したのであります。 世際院を来すことを行ぶのであ それがこれ等の質問・ の場正郡は常然前形より場よる | 土町者は栗附立提よりの主張であれた。 「一年の一年の方を直して物を増みます。」のは単海は栗棚が下外型を発にれたった。 「一年の一年の一年の方を正して物を増み出た。」 したものであります。 物神的と目の表に表に対けがある。 上にものであります。 物神的と目の場正郡は常然前形より場よる | 土町者は栗的立根よりの主張である。 であると考へるより物な側の場では、 を育っが考へるなら関係として、成り側線の様であります。自 と育っが考へるなら関係として、成り側線の様であります。自 と育っが考へるなら関係として、成り側線の様であります。自 と音っが考へるなら関係として、なり側線の様であります。自 と音っが考へるなら関係として、 成り問題の様であります、前者の

ど重ねてやし大きく皆て、 旦の部分にキャベツの葉を三枚ほ 豆が田本で売くてたまらたい時は イキングなどに行つて、足に 足の豆にキヤベツ

のであります、現代矯正學が著し 収々に其診断が難しく成つて來た 複雑化して來たのも此原因によ の様な似定の正しい一

[£]

術の場正器の過步が急激であり

水澤氏得意の猛攻

觀戰記

飯塚坳一郎

味覚をそゝり始めた

新鮮な夏の果物

の恢復を計ると同時に直観。恢復略か食せを第一にして咀嚼、適苦 合を考へず個人々々に適願した正 何に其清弾的影響が多いか聞く大 「血きを置いてゐるのであっます 夫故 現代の矯正部に於ては い場合を整へるのであります。 【第七局】(関は凸五七派迄の周面)

挂牌的各七時间) 平 华 一瓣 四腳一下粉 步

甲順の五三歩で閉察・ 智然過ぎる程常然

で数字を招いた。最も大切た成。方が無い。毎月に六四時である。永 と共に明日を持たうで数字は、最も大切た成。方が無い。毎月に六四年であまって此の底炎が成功する程した後、未満氏にすかさずしてめたが、動馬大四級成りより仕、 飛りは急速に済せ、前日の移り、約末氏は五年記した。

こると云つた猫し気持が火

智微です、オレンチは日向照相と | デュースなどは飲めなくなるわけ | よく、 | 第三十五週位です。 をもつてみるのでよろこほれてる 去ひますが、三質相と同じく六

一内地でも排版を告げています。ずつとよろしいものです。例光、 レモンニレモンは総人以上、数ありますが、暗藍品の方が帰

内物で百匁一年一回四十銭位です





掛は三月 頭から出てゐますが、 │六、七十錢の高値になるだらうと │ アスが今盛んに田遊つてゐます、 棚分が多く、皮ともに頂けるのが一思はれます、それで鑑分はレモン 林橋=林梅には、いま恋地く貴が経路で、コリく 果肉がよくしまつてゐて、酣切れ 臨く 欧野が帰とな

冬 すが、勘だ保ちのよい種類です、



皆クリンシンです

歐米婦人の洗顔は

お顔か見遠へる程美しくなる!

歐

米で

IJ

ン

(の作用・クリーム (1) 洗顔クリームの

(2)栄養クリームの

一中すりこんではことろだけ ったが、市穴の東洋くにもこも でカブレまでもスクキリとの風 に落ちます。

一明色クリンシンで洗剤しまれた。 また作下なしに、まだに、また作口物をつけても、また作口物をつけても、また作口物をつけても、どのお化粧下を使ったよりも一種美しいファルのあるた化粧下が川来ます。

最 シ ン美容法 流行の

とても美しくなる 人給美容法

大活的にカリンシンを励からラビに握 カ語の中でビッとしてあると、四人の かいに巨大が十分的さ、カリンシ がいに巨大が十分的さ、カリンシ がいに巨大が十分的さ、カリンシ がいに巨大が十分的さ、カリンシ がいに巨大が十分的さ、カリンシ がいに巨大が十分的さ、カリンシ がいにでものロコンと可範に似るされては がは、おは、カリンシのは ないに対したが、おけから上ろ時に、 から、カリンシから指えっして関人の際に変してな ります。

露晴しい効果の 睡眠美容法

美しさを増す!時時がたつ程一層

学に素晴しい新工夫!

▲「複合粒子」の自粉は何放時別に美しく附くかし

くこの報力競争な「独合電子」の作用によるのです。 いま、また何けてから時間が建つ電一解美しさを増す等々の業頭し、化粧紙製を設態に低感してあるのです。 オス抜けて美しておくず、不乱韻なくらるおび解除を以際に低感してあるのです。 オス抜けて美しておくず、東記韻などらるおび解除なの場所なの場所ない。

震肌白肌 肌 色色色

日の水揚高質に五萬尾

され十日頃から共販を開始のけず

優秀タンタ

永同は十日頃開始

大活躍

【清州】忠北道長台でに來る十四

忠北當局で

防弾チョツキ用に 繭を飲

金鮮に魁けて忠北に結成 必若蝦鍊の實踐を目指す

忠北署長會議延期

として本此英同後援の下にまる四一間時代取技に河ー直対風骨平分脑(大郎型工事が竣工した叩ぶ部場、網絡な形址が優勝機やし市年間分(大郎)観察者では公設盟職税が一名便服し市工院性岩坑環技は別院

大邱出身の三勇士

稼談が 纒まつた娘

牙城驛で 姿を消

咸興驛前の旅舘にゐると

郷里から謎

壯烈な戦死

百萬圓浮かす 忠北の貯蓄ご備荒貯穀 各郡の豫定額決定 日午後一時から郷一 平壤山手小學校のお家騒動

断乎として處罰

[永问] 馬揚遊寶路員、洪面長、

置の陳情 永同支廳設

當局は追播に大童

被害既に六百餘町歩に及ぶ

て受流す) う代条引換にても直ちに衰退す。 にあり。もし品別れの時は直接翻

帯在する淋菌まで殺菌するのである。にある淋菌は勿論、結談の側管及び深層と深遠の兩作用をついけ、尿道粘膜の委と深遠の兩作用をついけ、尿道粘膜の委し、一本にて數時間にわたり間斷なく致 分布密者し、そのまゝ徐々に溶解浸測し。道の郷かによつで却つて尿道結膜の全面。如く1、三分にて外部へ流出する事なく溶解し、内容は粉末なるが故に、注入薬浴がし、内容は粉末なるが故に、注入薬 合して粉末とし、此の粉末は直ちに溶解し方なる深塗性を有する色素とを化學的にしち蝋大なる新食見の銀幣と、尿道钴膜にしつラルゴールとは、淋漓に對し殺苗力が |成された淋病の新治療法である。| ルの新發明假値にて、本邦に於て始めにとれは他の淋病薬と相違するウラル 防止するのである。 |淋締を消失し、短期治療に奏效し、再のから、 物学にわたる慢性淋疾と雖もいに於て、感染早期は勿論のこと、た の管を尿道内へ入れると、外管は直ち 細き皆中に入れてある。

されたし。
でも)一回に短管一本を使用でも)一回に短管一本を使用 昼管を使用されたし。 短音、中語を使用し、吹ぎに 短音、中語を使用し、吹ぎに 短音、中語を使用し、吹ぎに 等の危險と不安なし~用法は頗る簡單安全~ **平野を使用されたし。** 縦知に短髄を使用し、水ぎに 関性、或は再駆性の患者には **使用されたし。** 歴史早々の患者には、短節を 適應症

円00

の類質、叉は申寶、成は英音と一本にて三時間より六時間)一本値かに二、三分) の種類と價格 かいこか 〇円七五 三 円 00 円五〇

電話本局長 | 01110

新名·漢面際巡檢會社 實達國際巡檢會社 阿波共同汽船作出机 新日 新山川中村 安地大神道

第三共同为六月六 日午股入灣 新 美 九八月 日午股入灣 国中市 大選、天体教

代理店

野口商會

+

公内が選品、本社及代理店へ御申 公内が選品、本社及代理店へ御申 政党が、代理店・創題存在下便校 歴史が、代理店・創題存在下便校 時日市側月は明石町

巨大灰香船派出机

殷

切符漢翼 「開聯主要聯二於テ醋車運路 「用聯」所繼主要聯二於テ醋車運路

明究っひに完成

U.O. 588

要日本、北海川、地大行 仁川川帆代理店日館海海縣式會駐 大湾流行(三、第七四)

では、20m (前橋太行(きゅ金行) (中橋太行(きゅ金行)

图明全共品重出机

· 原始,北方通,大理

で益々名嵯を高めつ1ある。
つて益々名嵯を高めつ1ある。

■ 株式市内日 ■ 株式市内 の では、 対応退権支援 ・ 大手に向い、 では、 対応退権支援 ・ では、 大等に向い、 では、 大帝 ・ 大帝 ・ では、 大帝 ・ 大帝

日英米佛

法特

許

城群州州 在琼斯 北邻南蝽组 完善计五百

元山田県 企連店 朝鮮遺儀安店 東非道橋安店 四個部川州 失理的 常田商會 大月廿二日

付適質店へ前述代理店及各地製造で備定事スを輸出登録人優秀貴斉船ニシテ合船共賃録人優秀貴斉船ニシテの箱、小樽 溶海地 [洒田、蛤川、潜森、六月十一日 **光を依囑し、多年書心の始果、つびに發見された談することが、先供問題と書はねばならぬ。 派師にを清せしむる方法としては、何よりも先**

かとまで恥ふに到るのである。または依櫚の都度、或は時饒の變り目毎に甲壺のまたは依櫚の都度、或は時饒の變り目毎に甲壺の、これを長期間にわたつて櫚繚したとても、宮勢

協に對する殺協力は極めて機能である。 入、洗滌軟等は、その作用が一回わづか數分にす 消決等の作用はあるが、この搾在沖吶までも負售

潜入して、といを繁殖地帯とするからの表面を喰ひ范してゐるが、次帝に尿 済しない理由は、

尿道口から感染した

躍進に躍進を重ね

星ル

友田合資會社

寶元 商

東京市日本橋區本町三アー

振春口座・東京・一九三八世話日本機(武人)元二七七



同野の残職と共に初夏の若へ話題を投げ、店町を舞臺に手も切れさらな一萬六千川

志町を舞磬に手も切けさうた一次六子頃の札束を詐取したのが選の妻さで、日代原路點へ検察、今とこそ人に衛が遂行るものか文官、又は微型り選中を攻に挽いては全郎を政に起す二代で卅萬間といった金を野取してゐた物族い 野神論教子 が京城の真中、

っ海印寺々で萬有遺金術をこのほど習得、この世に御目見得したい

月還金術を看板に

一般令忌避者は

一何でも來

- 氣合一つで金にする

重刑に處す |東京電話|| 常 合を忌避うる非 上げられるといる喉を聞きこ分等の特易も軍に強御的に買 於城(元)(本)

報「般告が残裂合が出る際に 既判長保で無理の結果に 言分にも及ぶべきこと

上勇士の貰い贈物に鉄落上正

に思い異質行為をなしたもの なないと抗辯したが大銀院級であるから選反に関はれる課

- 金品を銀中に受雇った 重罪犯定権一等水英の誠心こもる財団収 語を綴けてあるが、複雑様に大 し、八日本地で活動中の海に勇

太田

南總督から感謝狀

國策の線に沿ひ京電で考慮

發疹チフス續出

忍込み捕る

夏の四ヶ所に接端。 國民の保護が第一歌がデーに府内目・判明、続後報回は 7廿日の結核 り撒いていること

> **神局に吹き、解へ開く人々数つたと云ふ美術が本所種** 政党の上司を部下の輸血で

域府衛生職ではよっろい諸核戦をふっれをかれたコンク戦運動に呼應し京。に常報を吐いて恋。し、下部と続度入戦連動に呼應し京。に常報を吐いて恋。し、下部と続度入権持续減い路上、進ご上部と後鑑さ 痰壺を備 結核豫防に萬全の 京城の主な電車乗換場に 策

室を舞台に忠南天安郡安昌楠

機な跡術に引掛けられて現金一

遅症病の本家はその親爺で、親か これまた詐欺削科二個の強か者で

思議に男でござると無智 から指名手配されるや採在根と昨 千二百五十間在昨坂逃走, 公州縣

親子二代で三十萬圓を詐取

荻原課長急行す

株屋

の前

去月來土田雅郎を西下せ」め大阪

のメスを振る野心の根を二昧では

親子もあらばこそ

「萬箇を禁

不能な男を調べようとうると に適け出すので撤跡の上浦 一時ごろ府内観底町四六橋草心金

で強ねて臭いと睨んでんた京城排

六ノ二二菜銀行支配人尹浩仰氏二 【既報】=自役を聞つた京城館路

自殺學生紀命

歴を題つた本府事物官原田大六氏

達者なチン

稼いだり!千六百回

金のためには親子別係る新たら | 方法院に提起し入日子後二時期 山 サー賞供だといる谷口ヒメコを耐いたが、職 サー賞供だといる谷口ヒメコを耐くに コーラが表示している谷口ヒメコを耐くに コーラが表示している谷口ヒメコを耐くた。

前間點呼の豫行演習 No

て夫婦相談の上、苦心して遊れ。して節明書を駆べること **维那門學校眼球即提供教**

爽かな風味

朗かな良卓

スガ

0

店商七精族()



法廷に展げられた哀しき争ひ

李昌植日本平三月

一敗戦の名刺を作り

延再蹴球部

何ひ二字三日午前七時七二分出 丁名は丁二日午後二時丁分内地

國際列車荒し

徐罪續々ご現はる

ラバスア

分一地圖東隊教科

の名食が出たよう

随し本電話光旗を守りませり 鮮鉱從事員の貯金

際に乗機を計し五日債流地故事

山間に向つた(容真け当門體上に

総長門は一般脱及路際世のために 事際下海の軍事思想者人のため軍

軍艦三長門」の参観

の時局認識が全員に徹底した

學友映畵密を改組

墨藍に喜ばれてある京城府単支映

一明な諸君の選ぶ良襲

舅

花柳病專門

*日本-古和問心

が贈って苦しい、臭い響き間は ・ のが明らない際と云ふ人が ・ でき取りてから高れた間に可能が ・ ではを取りてから高れた間に可能が した明が小世では、明明が大阪ノフォラして仕事や には、かけては、明明が大阪ノフォラして仕事や を ・ こ云ふ間な気が沿れた極いの順状が ・ こ云ふ間な気が沿れた極いの順状が 電話日本橋區吳服城三十〇〇香 觀 觀 翳 稟 京 藝 礬 所

京日安内



聞版 八三番

十六、上版の少年報告共在地へ 空急減率

特別案內

店員採用



で披露するため三萬節の見がで第一 回動間袋の数集を行ふことにな ものがある折橋、京城軍事後の風窟庭は益々今後の第カに

部下が赤心の輸血

本府警務局に吹いた美談

との残を求めて探し建つた、在つ

「「「「「「「」」では、「「」」での概念 士江さん「ね」を相手取つて『この 事件は原告の主張するところに

· 瓶街受付揭所 · 試 晚 日 制 大间 静料 即即期 手切人 阿果阿

Ŋ. 作年を言・たの間





燃機關

1 日本の大学 1 日本

